

芦北町議会だより

うたせ

第24号

平成23年1月28日発行

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL(0966) 82-2511・FAX(0966) 82-2894



どんどや

(1月9日 大野小学校)

- 12月定例会・臨時議会… P2～3
- 一般質問… P4～9
- 議会のうごき・編集後記… P10



12月定例議会



12月定例議会は、12月16日に召集され、17日までの2日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成22年度一般会計補正予算ほか、特別会計補正予算3件、条例の制定及び廃止並びに一部改正3件、財産の処分1件、あらたに生じた土地1件、字区域の変更1件、町道認定1件、工事請負契約の締結を可決し、人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問1件についても、原案通り答申することとに決定した。

一般質問には、6名の議員が登壇し、執行部の考えをただした。

主な質疑

一般会計補正予算

質 佐敷駅跨線橋整備事業は、何年度完成か。

答 平成23年度で、平成24年3月完成である。

質 道の駅たのうら指定寄附金とこのうがあるが、条例制定はどうなっているか。

答 指定寄附なので条例制定は、していない。

質 星野富弘美術館指定寄附金は、なぜ急いで処理しなければならなかったのか。

答 現金保管は危険であり、弁護士、県、警察関係者に相談して判断した。

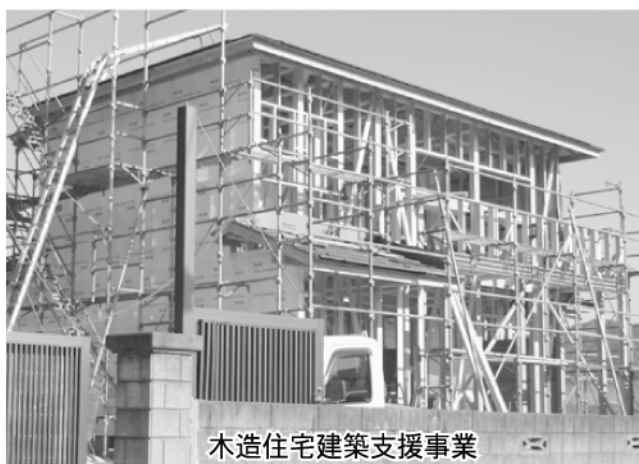
質 債務負担行為の項目が7件あるが、今までと同じ業者か。

答 委託は、同じ業者である。

質 木造住宅建築支援事業と住宅用太陽光発電システム設置についての件数と今後の見込みは。

答 太陽光発電システムは、9件を予定している。事業は23年度までとしているが、国の動向を見ながら検討したい。

答 木造住宅支援事業の経緯は、平成19年度が15件、平成20年度が24件、平成21年度が19件、平成22年度が11月現在で17件である。今回3件の追加要望しているが最近、大口申請もあり、不足も考えられる。



木造住宅建築支援事業

補正予算を可決

今回の補正額（増額分）は、**2億2,497万1,000円**
一般会計・各特別会計をあわせて

会 計 名	補 正 額 (増減)	補正後の総額
一 般 会 計	2億1,533万2,000円増	98億7,980万2,000円
国民健康保険特別会計	472万6,000円増	33億2,906万6,000円
介護保険事業特別会計	407万3,000円増	18億8,532万7,000円
町有温泉事業特別会計	84万円増	1億674万円

◎補正予算のおもな内容（一般会計）

- ・佐敷駅跨線橋整備事業委託料 10,500万円
- ・芦北町木材住宅建築支援事業補助金 235万円
- ・道整備交付金事業工事 3,200万円
- ・町道五本松2号線改良工事 1,639万円
- ・芦北町立星野富弘美術館心の基金積立金 2,000万円



佐敷駅

芦北町立星野富弘美術館 心の基金を設置

芦北町立星野富弘美術館の設置の趣旨に賛同し、頂いた寄附金について、美術館の更なる発展向上のため有効に活用することを目的としている。

平成20年4月1日からつとめられ、現在2期目。

鎌木 義光氏
(湯浦地区)



推薦
人権擁護委員に

人事



新しくなった芦北町清掃センター

平成22年第6回臨時議会は11月26日招集され、1日間の会期で開催した。
上程された議案は、一般職職員の給与及び町長等並びに議会議員の報酬、費用弁償等の一部改正（減額）、芦北町

立清掃センター条例の一部改正条例をはじめ、インフルエンザのワクチン接種補助金21、106千円を追加する平成22年度一般会計補正予算が慎重審議の結果、全会一致で原案通り可決した。

第6回臨時議会

各分団に軽自動車の小型ポンプ付積載車を配備できないか!!



宮内議員



現在の小型動力ポンプ付積載車

非常備消防の消防施設整備計画はどのようになっているのか

質 機動分団を含め10個分団ある各分団に軽自動車の小型ポンプ付積載車を配備する計画はないか。

答 町長

非常備消防の消防団の設備の整備については、車両等更新計画に基づき、毎年更新を行っている。したがって、今回質問の軽自動車の積載車の導入に関しては、今後の更新

計画の中で、消防団とも協議しながら各地域の実情を考慮して検討していきたい。

九州新幹線開通に伴う「観光うたせ船」のPRについて

質 3月に全面開通する九州新幹線について、芦北町の観光の目玉である「観光うたせ船」を今後どのようにPRし、推進していくのか。

答 町長

お尋ねの件は、本年度それに向けた取り組みとして、冠事業を活用して、乗客者にイシエビをおみやげとして提供し、秋の観光うたせ船キャンペーンを行った。来年度も新幹線元年事業による県の補助を活用し、引き続き広報誌、メディアによる広報活動、さらには主要駅へのチラシ配布、JR九州をはじめとする旅行会社への旅行商品としての売り込みを積極的に進め、特に関西方面の修学旅行生獲得などを目指していきたい。

質 新八代駅から「おれんじ鉄道」へ乗り継ぎする場合の利便性について。

答 町長

沿線全体で九州新幹線と在来線のダイヤ改正が実施されるので、総合的な調整の中で町としても「観光うたせ船」の振興が図られるように、また、その他の振興とも併せ利便性確保のために要望していきたい。



肥薩おれんじ鉄道

白岩上地区の(旧)龍ヶ岳芦北浄水場の跡地は、今後どのような計画であるのか。

質 平成16年5月31日に給水協定が解除されているが、将来復活の見込みはあるのか。

答 町長

給水協定が解除された後も上天草市との間で、平成17年3月1日に取水に関する覚書を取り交わしており、緊急の場合に使用できるよう維持管理を今後とも続けていくとの事である。

質 この浄水場跡地を「芦北町」に払い下げする旨の相談があったのか。

答 町長

今、申し上げた覚書が生きており、今後とも維持したいとの回答があった。よって、払い下げの相談はあっていない。

「随意契約」の創造的運用を図る 小規模事業者登録制度について!!



坂本議員

質

町内の土木、建築、電気、内装、板金、塗装、ガラス、造園など、多岐にわたる小規模工事に携わる建設関連事業者のうち、年間所得が200万円以下、201から300万円以下の方の割合はどれくらいか。

答

町長

把握していない。

質

予算を拡大しなくても、現行の予算配分をふりわけて実現でき、また県下自治体でもすでに設置されている「小規模事業者登録制度」を新たに設けて、町が発注する小規模な公共工事に、地元業者も登録できる制度をつくる考えはないか。

答

町長

小規模事業者登録制度については、研究を行っているが現在の発注方法は本町の実態に合わせて十分に対応できているものと確信している。

景気・雇用対策も見込める住宅リフォーム助成制度の創設について

緊急雇用対策として、住宅リフォーム、耐震

改修、バリアフリー、環境対策、三世代住宅改修工事など、町民の方が町内の建築業者に請け負わせた工事に、自治体が一定額の助成を行う「住宅リフォーム助成制度」が、急速に全国へ広がって経済効果も生み出している。芦北町としてもこの助成に踏み切る考えはないか。

質

町長

答

町長

本町においては、木造住宅建築物支援住宅用太陽光発電システム設置費補助、要介護高齢者等住宅改修助成等の住宅リフォーム制度を設けて、経済、福祉両面からの政策を講じているところである。質問の制度については、今後の研究課題としたい。

質

その際、使い勝手のよい制度にするため、補助金申請をする町民のため、住民票や住民税の滞納がないことを証明する書類は、申請

者の同意の上、役場がすべて集めていただくよう手続きの簡略化を図るべきだと考えるがいかがか。

答

町長

同様に、今後の研究課題としたい。

水俣病被害者救済に向けた広報活動の充実について

質

水俣病に関する特別措置法の施行に伴い、町内でも救済申請の問い合わせが増えてきている。町としてもあらためて救済措置の申請を町民に呼びかける広報活動の充実が重要だと思いがいかが

質

町長



芦北町もやい直しセンター

答

住民生活課長

か。また、情報発信の拠点として「もやい直しセンター」の「きずなの里」の役割についてどのように考えるのか。

答

福祉課長

広報活動については、県と連携し随時実施している。これまで町内での説明会を5回実施しており、参加者は653人上っている。

質

特措法での地域・年齢での「線引き」は、実情に合わないとは社会問題にもなっている。地元首長として、行商ルートで山間部に汚染魚が流出した実態を踏まえて、水俣病患者救済に向けた決意を伺いたい。

答

町長

町としてもつつがなく被害者救済が図られるよう、今後とも強く県当局へ働きかけていく。

星野富弘美術館運営の 抜本的改革は!!



川尻議員

質

星野富弘美術館が平成18年5月開館して早5年が経過しようとしている。当初の見込より入館者数の大幅減少等により収入より管理費総額が増大している。

地方財政が益々厳しくなりつつある今、本町の公共施設の一つである星野美術館運営の抜本的改革を真剣に検討すべきであると考えられているか。

答

町長

公設美術館としての役割を十分理解し、改革すべきは改革し、美術館発展に取り組みたいと思う。

答

教育委員
員長

運営について、来館者の増員のため、企画展を年2〜3回開催している。美術館のPR・広



星野富弘美術館

質

報活動の充実を図り、県内の美術館や小中学校、旅館等に営業活動を行っている。経費面での削減を言うならば、非常勤で団体の入館者のときだけ日当割で払うとか、今後すべきではないか。

答

町長

提言と受け止め、研究をさせて頂きたい。

質

取りあえず配置職員の減員・入館者数に見合った職員配置を検討し対処すべきではないのか。

答

生涯学習課長

当初3名、館長、学芸員、臨時職員を配置。勤務時間を週30時間とするため増員を行

五年間の行政改革実施の成果を 問う

質

平成17年度〜21年度の5年間の行政改革実施成果報告書が提出された。町長として自信をもって成果として報告できるものを5つあげるなら何か。

答

町長

この改革の成果と今後の課題をふまえて、第2期行政改革大綱の策定にあたって基本にすえたものは何か。

職員の定員管理の適正化、町債の適正管理、経営基盤の

質

町教育委員会5名で美術館入館者の現状等視察し確認して対応策など定例の教育委員会で審議検討しているのか。

答

教育委員長

視察及び協議はしていない。事務局評価及び学識経験者の意見を聴取しながら点検評価を行っている。

強化、農業集落排水事業と生活排水処理事業の施設等維持費の見直し、公立保育所の統合等がかなりの効果があつたものと考えている。組織と財政に絞った内容としている。行政組織の効率化、体制の整備、定員の適正化、人材の育成等に取組む。財政分野では、効率的な行政運営、健全な財政運営の確保、広域連携の推進に取り組むこととしている。

行政情報公開について!!



寺本議員

質

新聞報道によると熊本県内46市町村平成21年度の行政情報公開ランキングによると本町の公開度順位は46市町村中39位となっている。特に町長交際費は0点である。このような状況下、本町は平成17年に情報公開条例も制定している。

町長はこの情報公開ランキング下位にある状況をどう受け止め、どのように対応したか。

答

町長

質問のランキングは、指摘のように、熊本市の市民団体、熊本市民オンブズマンが本年4月に実施したアンケート調査を採点したものである。

調査は市町長交際費、情報公開条例、公共工事入札などに関する13項目であったので、若北町情報公開条例を基に回答している。

答

総務課長

具体的な内容については、交際費相手情報の非個人の一部非公開、またインターネット上での公開、閲覧手数料、

さらにはコピー代など採点されていない。しかし、個人情報保護や実費相当の手数料負担の面から考慮したとき、採点には関係なく、適当な運用と考えている。また平成17年に情報公開条例を制定して、これまで開示請求は2件と極わずかである。

以上、本町の情報公開制度の運用は、現時点で特に問題はないと考えている。



公的オンブズマン設置を進めている熊本市

公的オンブズマンの設置について

質

近年地方自治体に関する住民の苦情などを処理する機関として自治体に、公的オンブズマン設置の動きがある。

公的オンブズマンは町民の苦情のみならず、行政情報に基づき行政の見直しを行い、住民の町政に対する理解と信頼を向上させる制度である。

さらには、オンブズマンの存在により職員意識改革や町民への対応能力の向上が図られ、さらには町政に対する町民の理解と信頼の確保が図られるという効果が期待できる本制度の設置の考えはないか。

答

町長

オンブズマン制度の導入については考えていない。

オンブズマン制度は2000年前スウェーデンが発祥で民間の行政監視団体の意味があり、我が国の制度では議会の機能の十分な発揮、監査委員機関の権能発揮により充分その機能を果たせると思っている。

湯浦温泉の今後の活性化について!!



林田議員



湯浦温泉センター

宝亀年間に発見された湯浦温泉は、およそ千三百年の歴史を誇る温泉としてこれこそ芦北の宝といえる。

質 湯浦温泉の観光振興と資源活用について今後の町の計画と構想を伺いたい。

答 町長

湯浦温泉も近隣の温泉地同様低迷している中、地元では宝亀祭事業に取り組みられていることに心から敬意を表するもので、やはり地域おこしは民間力が必要。町もヘルシーパークあしきた、湯浦温泉等有しており、ともに湯浦温泉活性化のため取り組んでいきたい。

質 町営湯浦温泉センターの湯量が少ないが、掘削と施設の改修予定はないか。また、温泉協同組合との関係はどうなっているのか。

答 商工観光課長

当センターの湯量は毎分67リットルの泉源をもとに運営をしている。昭和30年に開業され建物は55年経過し老朽化している為、建物等問題もあり検討の時間をいただきたい。温泉協同組合については今後の推移を見守りたい。また色々な提案も聞きながら対応していきたい。

質 湯浦温泉神社はもともとヘルシーパークあしきたの川沿いにあった。現在の慰霊塔公園にあるが移った経緯は。また階段のため行く人も少なくなっているが、湯浦温泉活性化のため元の場所に移せないか。

答 商工観光課長

階段が少々きついのが湯町を見守るように設置し眺望も素晴らしく湯浦温泉発展を願って設置されたと思像するが、今後移転も含めて湯浦全体の浮揚策、活性化を図る中で提案をいただき、ともに検討したいと考えている。

湯の香橋の改修は

湯浦温泉のシンボル、湯の香橋はアートポリス事業で白い橋に変わったが、当初の建設目的は。

答 町長

質 湯浦温泉千三百年の観光振興のため、色の塗り直しや改修工事は出来ないか。またライトも消えたままになっている。階段下には土砂が溜まっているが対策はないか。

答 商工観光課長

平成2年に熊本県アートポリス事業で現在の橋に架け替えられました。そのコンセプトは温泉街に再び人の賑わいを取り戻そうという最高の計画であったと聞いています。塗り替え改修工事については設計者の意見もあり検討の時間をいただきたい。

答 建設課長

ライトの復元は無理だが、人道橋としての照明を考えている。土砂の堆積については、改善策を11月上旬、県に要望している。



湯の香橋

夢をもてる第一次産業支援は!!



宮尾議員

質

今年の猛暑は、気象庁も初めて異常気象と表
現し、多大な悪影響を受けて
いる。更にT P P参加など先
の见えない時代になった。支
援の現状と今後はどうか。

答 町 長

管内の市町より格段手厚く
支援している。今後も柔軟に
対応し、積極的に支援してい
く。また国県の補助が無い時
は町独自でできないか考え
る。

答 農林水産課長

高接園の解消や、芦北まる
ごと販売構想の支援も検討し
たい。

質

農地流動化の現状は。

答 農林水産課長

J Aを中心に農地の貸付事
業を行なっている。告地区に
も法人化の動きがある。農業
委員会では幹旋にむけ申し合
わせをしている。

質 林業の活性化策は。

答 農林水産課長

林道整備や木造住宅建築支
援事業を行なっている。今後
も林道整備は不可欠なので、
森林組合などと連携し取り組
んで行く。

質

猟師の減少をど
う考えるか。

答 町 長

猟友会長も加わり、
対策を考えている。銃
規制が大変厳しい中、
罾猟が有効であるとの
事で、罾免許取得費用
に対し助成をしている。

質

漁業の活性化策と、と
らふぐの温泉水養殖の
研究は。

答 農林水産課長

稚魚の放流事業や漁船保
険、エンジン改修などに支援
をしている。新規事業として
かきの養殖試験がある。とら
ふぐについては、専門機関や

漁協の意見を聞く。

質 食育教育の今後は。

答 教育委員長

各小中学校で米や野菜を栽
培し調理もしている。自然の
恵みに感謝する心を育むため
積極的に取り組む。

水道事業の現状は

質 宮田配水池は順調か。

答 町 長

平成19年度に本町初めての
ステンレスで築造し、順調に
安全な水を供給している。

質 町水道以外の生活用水
と海浦地区の水質は安
全か。また、水質検査料の助
成は。

答 上下水道課長

井戸は個人財産であるため
把握していない。海浦地区は
他の水源から配水する予定で
ある。



デコボソ果樹園



宮田配水池

議会のうごき

- 11月2日 熊本県町村議会議員研修会
 8日 南九州西回り自動車道の早期実現に関する後期要望活動
 9日 南関町議会視察研修
 11月17日 町村議会議長全国大会(東京)
 ~18日
 22日 議会運営委員会
 26日 第6回芦北町議会臨時会
 " 全員協議会
 " 水俣芦北広域行政事務組合議会第3回定例会
 28日 平成22年度南九州西回り自動車道の早期実現に関する後期要望活動(東京)
 ~29日
 12月10日 議会運営委員会
 16日 12月定例会(議案審議)
 17日 " (一般質問)
 1月9日 成人式
 18日 議会運営委員会
 " 広報特別委員会
 21日 第1回芦北町議会臨時会

町村議会広報研修会開催される



広報研修会

平成22年11月11日、熊本市自治会館において町村議会広報研修会が開催され、芦北町から3名の広報委員が参加した。

議員視察研修



平成22年10月27日、28日に静岡県伊豆市役所と東京都の全国町村議会議長会を視察調査した。

熊本県町村議会議員研修会開催される



熊本県立劇場での研修会

平成22年11月2日、熊本県立劇場において県内の町村議会議員を対象に研修会が開催された。芦北町からも10名の議員が参加した。

南関町議会より視察来町

平成22年11月9日、熊本県南関町議会より議会運営について視察があり、藤井議長と宮尾委員長で対応した。



南関町より視察研修

議会広報特別委員会

委員長	宮内道則
副委員長	平松洋一
委員	川尻成美
"	宮尾秀行
"	元山秀志
"	林田耀宏



編集後記

映らなくなるので仕方なく地デジのテレビを買った。店内を見渡せば、利便性を追求する商品で溢れている。

この貧欲で終焉のない不満と欲望が、世界の経済を動かす。ただ利便性だけの追求は、人の生き抜く力を欠落させはしないだろうか。

ほぼ毎朝山に登り、皆の平穩を朝日に拝むと共に、幸せのハードルを基本に戻し、命が有り古くても住める家と食べ物を持ち、家族も大病をしていない事に幸せを感じる努力をしている。

物欲だけを追求する世の中になれば、考え方を変える努力をしなければ、永遠に幸せは来ないだろうと思う。

(宮尾)